

表2 障害児支援施設全体の外部評価結果

番号	評価項目名	評価者分布								事業者分布							
		3		2		1		0		3		2		1		0	
1	事業所は、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士などの専門職を配置している	25	(42.4%)	10	(16.9%)	9	(15.3%)	15	(25.4%)	21	(47.7%)	8	(18.2%)	4	(9.1%)	11	(25.0%)
2	事業所は、定期的支援者を対象とした内部研修を実施し、OJT(On the Job Training)を含んでいる。※OJTとは、日常業務を通じた職員研修のこと	23	(39.0%)	19	(32.2%)	14	(23.7%)	3	(5.1%)	25	(46.3%)	17	(31.5%)	8	(14.8%)	4	(7.4%)
3	事業所は、支援者に外部の研修会に参加して専門性を高める機会を提供しており、勤務時間内での研修受講を認めている	29	(49.2%)	25	(42.4%)	5	(8.5%)	0	(0.0%)	31	(56.4%)	21	(38.2%)	3	(5.5%)	0	(0.0%)
4	事業所は、支援者に、経験値に応じた頻度でのスーパービジョンやコンサルテーションを受ける機会を提供している	18	(30.5%)	14	(23.7%)	20	(33.9%)	7	(11.9%)	13	(23.6%)	17	(30.9%)	18	(32.7%)	7	(12.7%)
5	事業所は、ホームページやSNS等で事業所に関する情報を適切に発信している	18	(30.5%)	20	(33.9%)	19	(32.2%)	2	(3.4%)	21	(40.4%)	21	(40.4%)	6	(11.5%)	4	(7.7%)
6	支援者は、子ども一人一人をアセスメントする適切なツールや方法を理解し、アセスメントするスキルを有し、支援に活かしている	14	(23.7%)	20	(33.9%)	22	(37.3%)	3	(5.1%)	11	(20.0%)	25	(45.5%)	19	(34.5%)	0	(0.0%)
7	支援者は、子どもが行動上の問題を起こす理由を理解し、行動上の問題を軽減するためのスキルを有し、支援に活かしている	15	(25.4%)	23	(39.0%)	19	(32.2%)	2	(3.4%)	13	(23.6%)	31	(56.4%)	11	(20.0%)	0	(0.0%)
8	支援者は、運動・認知・言語・情緒の定型的な発達についての基本を理解し、支援に活かしている	13	(22.0%)	22	(37.3%)	22	(37.3%)	2	(3.4%)	10	(18.2%)	30	(54.5%)	15	(27.3%)	0	(0.0%)
9	子ども一人一人は、個別の障害特性に配慮された支援を受けている	18	(30.5%)	21	(35.6%)	17	(28.8%)	3	(5.1%)	18	(32.7%)	28	(50.9%)	9	(16.4%)	0	(0.0%)
10	子ども一人一人は、日常生活での自立と適応状況が評価され、また自立と適応を促すための支援を受けている	16	(27.1%)	24	(40.7%)	16	(27.1%)	3	(5.1%)	12	(21.8%)	33	(60.0%)	10	(18.2%)	0	(0.0%)
11	子ども一人一人は、余暇スキルのレパートリーを増やすため支援を受けている	15	(26.8%)	23	(41.1%)	14	(25.0%)	4	(7.1%)	10	(18.9%)	30	(56.6%)	13	(24.5%)	0	(0.0%)
12	子ども一人一人は、適切なコミュニケーションの方法を学んでいる	18	(30.5%)	19	(32.2%)	20	(33.9%)	2	(3.4%)	20	(37.0%)	25	(46.3%)	9	(16.7%)	0	(0.0%)
13	子ども一人一人は、自己決定する力を育てるための支援をうけている	19	(32.2%)	25	(42.4%)	13	(22.0%)	2	(3.4%)	19	(34.5%)	30	(54.5%)	5	(9.1%)	1	(1.8%)
14	子ども一人一人は、自分の長所が把握され、それに基づいた支援を受けている	23	(39.0%)	21	(35.6%)	13	(22.0%)	2	(3.4%)	17	(30.9%)	29	(52.7%)	9	(16.4%)	0	(0.0%)
15	子ども一人一人は、自分の嗜好(好み)が把握され、それに基づいた配慮ある支援を受けている	24	(40.7%)	21	(35.6%)	12	(20.3%)	2	(3.4%)	20	(37.0%)	29	(53.7%)	4	(7.4%)	1	(1.9%)
16	【放課後等デイサービス項目】子供一人一人は、次のライフステージに応じた将来の夢や希望を実現するための話し合いに、可能な限り参加している	5	(14.7%)	13	(38.2%)	10	(29.4%)	6	(17.6%)	1	(3.4%)	11	(37.9%)	14	(48.3%)	3	(10.3%)

17	【入所項目】子ども一人一人は、可能な限り、生活の中で自分の好みが反映されるように配慮されている	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	4	(44.4%)	2	(22.2%)	1	(11.1%)
18	【入所項目】子ども一人一人は、生活を豊かにすることを目的とした多様な活動体験をしている	2	(40.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(37.5%)	3	(37.5%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)
19	【入所項目】子ども一人一人は、可能な限り、個人に合った役割(食事の手伝い・掃除等)をもち、それを自立的に最後まで成し遂げている	2	(40.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(75.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20	【入所項目】子ども一人一人は、家族に会う機会や入所施設以外の友人(同性・異性)と関わる機会が提供されている	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	2	(40.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)
21	【入所項目】子ども一人一人は、本人の意思や好みに応じて地域の行事に参加したり、地域の人とふれあう機会を提供されている	0	(0.0%)	4	(80.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)
22	【入所項目】子ども一人一人は、本人の能力と特性に応じた教育を受ける機会が提供されている	3	(60.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)
23	保護者(および可能な範囲で子ども自身)は、個別支援計画の作成に参加している	26	(44.1%)	24	(40.7%)	6	(10.2%)	3	(5.1%)	24	(43.6%)	19	(34.5%)	11	(20.0%)	1	(1.8%)
24	個別支援計画の目標の主語は、利用者である	21	(35.6%)	22	(37.3%)	11	(18.6%)	5	(8.5%)	31	(58.5%)	10	(18.9%)	6	(11.3%)	6	(11.3%)
25	子ども一人一人の個別支援計画は、個別のアセスメントに基づく適切なものである	16	(27.1%)	20	(33.9%)	21	(35.6%)	2	(3.4%)	27	(49.1%)	17	(30.9%)	11	(20.0%)	0	(0.0%)
26	子ども一人一人は、個別支援計画において、自立に求められる幅広い領域に対応した目標が設定され、多様な経験をしている	18	(30.5%)	25	(42.4%)	14	(23.7%)	2	(3.4%)	14	(25.9%)	37	(68.5%)	2	(3.7%)	1	(1.9%)
27	【重心項目】子ども一人一人の個別支援計画には、医療ケア、生活支援、発達支援がバランスよく盛り込まれている。	3	(42.9%)	2	(28.6%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	3	(25.0%)	6	(50.0%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)
28	子ども一人一人は、個別支援計画において、6ヶ月以内に達成が見込まれる具体的な目標が設定されており、実際に6ヶ月おきに評価されている	24	(42.1%)	18	(31.6%)	14	(24.6%)	1	(1.8%)	28	(50.9%)	16	(29.1%)	11	(20.0%)	0	(0.0%)
29	子ども一人一人は、個別支援計画において、獲得したスキルを学校や家庭などの日常生活で幅広く使えるようになるような工夫がされている	14	(24.1%)	22	(37.9%)	21	(36.2%)	1	(1.7%)	16	(29.6%)	22	(40.7%)	16	(29.6%)	0	(0.0%)
30	保護者に向けた書類(個別支援計画や検査報告書等)は、保護者に分かりやすく、専門用語を使わず、子育ての参考や子供の理解につながるような内容である	27	(47.4%)	20	(35.1%)	9	(15.8%)	1	(1.8%)	29	(52.7%)	24	(43.6%)	2	(3.6%)	0	(0.0%)
31	子どもの環境は、障害に応じた整備がされており、また必要な道具が準備されている	21	(35.6%)	22	(37.3%)	16	(27.1%)	0	(0.0%)	15	(28.3%)	28	(52.8%)	10	(18.9%)	0	(0.0%)
32	事業所は、それぞれの活動エリアと活動の流れが子どもにとってわかりやすいように明瞭化された支援環境となっている	23	(39.0%)	19	(32.2%)	15	(25.4%)	2	(3.4%)	23	(42.6%)	23	(42.6%)	8	(14.8%)	0	(0.0%)
33	子ども一人一人は、過剰な感覚刺激に晒されないように、環境上の配慮がされている	23	(39.7%)	20	(34.5%)	13	(22.4%)	2	(3.4%)	16	(29.6%)	31	(57.4%)	6	(11.1%)	1	(1.9%)
34	子ども一人一人は、必要に応じて個別の部屋や場所の使用が認められている	27	(47.4%)	20	(35.1%)	9	(15.8%)	1	(1.8%)	24	(44.4%)	19	(35.2%)	10	(18.5%)	1	(1.9%)

35	子ども一人一人は、支援者から穏やかな声や表情で対応されている	36	(61.0%)	19	(32.2%)	4	(6.8%)	0	(0.0%)	33	(60.0%)	21	(38.2%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)
36	子ども一人一人は、自分が理解できるように支援内容と方法についての情報提供を受けている	19	(32.2%)	17	(28.8%)	19	(32.2%)	4	(6.8%)	16	(30.2%)	24	(45.3%)	12	(22.6%)	1	(1.9%)
37	子ども一人一人は、スキルの獲得に際して、支援者の介助、補助のレベルが計画的に減らされ、自立につなげられている	16	(28.1%)	19	(33.3%)	17	(29.8%)	5	(8.8%)	15	(27.8%)	26	(48.1%)	12	(22.2%)	1	(1.9%)
38	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験をできるだけ多く持つことが重視され、失敗体験はできるだけ回避されるように配慮されている	23	(40.4%)	13	(22.8%)	21	(36.8%)	0	(0.0%)	25	(46.3%)	24	(44.4%)	5	(9.3%)	0	(0.0%)
39	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験にはほめられる機会が、失敗体験には次の成功に向けた再チャレンジの機会が保証されている	29	(50.9%)	15	(26.3%)	13	(22.8%)	0	(0.0%)	32	(59.3%)	19	(35.2%)	3	(5.6%)	0	(0.0%)
40	子ども一人一人の毎回の行動変化および活動環境(人や物)の影響を確認できるように、直接観察により継続的に数量的評価がなされている	11	(19.0%)	12	(20.7%)	22	(37.9%)	13	(22.4%)	8	(15.7%)	13	(25.5%)	25	(49.0%)	5	(9.8%)
41	子ども一人一人は、食事を楽しく食べている	30	(58.8%)	17	(33.3%)	4	(7.8%)	0	(0.0%)	27	(56.3%)	21	(43.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
42	子ども一人一人にとって、その空間は適度なスペースで清潔に保たれ、快適に過ごしている	31	(54.4%)	18	(31.6%)	8	(14.0%)	0	(0.0%)	28	(51.9%)	21	(38.9%)	5	(9.3%)	0	(0.0%)
43	子ども一人一人は、自分のペースで活動できることが尊重された支援を受けている	23	(39.7%)	29	(50.0%)	6	(10.3%)	0	(0.0%)	21	(38.9%)	28	(51.9%)	5	(9.3%)	0	(0.0%)
44	子ども一人ひとりとは、入浴・排泄に際しては同性によってケアされている	19	(34.5%)	23	(41.8%)	12	(21.8%)	1	(1.8%)	18	(37.5%)	12	(25.0%)	15	(31.3%)	3	(6.3%)
45	事業所は、支援者や家族による虐待の可能性について考慮しており、その疑いがある場合、適切な機関に報告している	31	(55.4%)	17	(30.4%)	7	(12.5%)	1	(1.8%)	37	(69.8%)	13	(24.5%)	3	(5.7%)	0	(0.0%)
46	【重点項目】子ども一人ひとりとは、かすかな反応にも気づかれ、意欲を引き出す支援を受けている	3	(75.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(50.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
47	【重点項目】子ども一人ひとりとは、その子の心身が楽で、障害による発達阻害が軽減されるようなポジショニングに基づいた支援を受けている	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(66.7%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
48	支援者は、事業所内において、チームで連携した発達支援を実施している	27	(47.4%)	17	(29.8%)	13	(22.8%)	0	(0.0%)	23	(42.6%)	25	(46.3%)	6	(11.1%)	0	(0.0%)
49	子ども一人一人の支援の目的と内容は、事業所・家庭・関係機関で共有され、各所の支援が調和的に子どもの育ちに資するような連携が実現されている	20	(35.1%)	22	(38.6%)	13	(22.8%)	2	(3.5%)	12	(21.8%)	30	(54.5%)	13	(23.6%)	0	(0.0%)
50	子ども一人一人は、次のライフステージ、関係機関、一般施策機関への移行に際して、支援が途切れないための引継ぎを受けている	17	(30.4%)	23	(41.1%)	13	(23.2%)	3	(5.4%)	21	(38.9%)	20	(37.0%)	12	(22.2%)	1	(1.9%)
51	事業所は、保育所等訪問支援により、子どもの集団生活の場において、子どもへの直接支援および保育者への間接支援を行っている	15	(42.9%)	7	(20.0%)	2	(5.7%)	11	(31.4%)	12	(33.3%)	9	(25.0%)	8	(22.2%)	7	(19.4%)
52	【保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援】事業所は、訪問支援に、適切な経験ある支援者を派遣している	6	(60.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	5	(55.6%)	4	(44.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

53	【保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援】支援者は、訪問前に家族や保育所等との連絡と調整を行っている	5	(50.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	7	(77.8%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
54	【保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援】支援者は、保育所等訪問支援において、行動観察と関連情報の収集に基づいた適切な助言を行っている	5	(50.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	5	(55.6%)	4	(44.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
55	【保育所等訪問支援】保育士は、支援担当者から専門用語を多用されず、分かりやすい表現で、説明を受けている	5	(50.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	4	(50.0%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
56	【保育所等訪問支援】支援者は、適切な実施間隔と実施期間で適切に保育所等訪問支援を実施している	6	(60.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	3	(33.3%)	5	(55.6%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)
57	保護者は、保護者自身の価値観を支援者に尊重されている	40	(71.4%)	13	(23.2%)	3	(5.4%)	0	(0.0%)	36	(65.5%)	17	(30.9%)	2	(3.6%)	0	(0.0%)
58	保護者は、子どもの特性理解に向けた支援者との話し合う機会を提供されている	31	(54.4%)	15	(26.3%)	10	(17.5%)	1	(1.8%)	27	(49.1%)	17	(30.9%)	9	(16.4%)	2	(3.6%)
59	保護者は、子育てで困難や不安を感じることを支援者に話して、支援の説明や安心感を得る機会を保证されている	33	(57.9%)	18	(31.6%)	4	(7.0%)	2	(3.5%)	29	(53.7%)	21	(38.9%)	3	(5.6%)	1	(1.9%)
60	保護者は、支援者から、子どもの発達課題に家庭で取り組むための手続きや工夫を指導されている	20	(35.7%)	19	(33.9%)	12	(21.4%)	5	(8.9%)	13	(24.1%)	23	(42.6%)	17	(31.5%)	1	(1.9%)
61	保護者は、支援者から利用日の子どもの情報を適切に伝えられ、相互共有できている	35	(61.4%)	16	(28.1%)	5	(8.8%)	1	(1.8%)	26	(48.1%)	26	(48.1%)	1	(1.9%)	1	(1.9%)
62	保護者は、子どもの将来の状態像とのつながりがわかるよう配慮された情報提供を受けている	19	(33.3%)	23	(40.4%)	11	(19.3%)	4	(7.0%)	14	(25.9%)	22	(40.7%)	18	(33.3%)	0	(0.0%)
63	保護者は、支援者から共感的に支援されている	40	(70.2%)	13	(22.8%)	3	(5.3%)	1	(1.8%)	31	(56.4%)	21	(38.2%)	3	(5.5%)	0	(0.0%)
64	保護者は、保護者同士で交流する機会や情報を提供されている	20	(35.1%)	13	(22.8%)	13	(22.8%)	11	(19.3%)	16	(30.2%)	20	(37.7%)	10	(18.9%)	7	(13.2%)
65	保護者は、保護者も参加できる講演会や研修会の機会や情報を提供されている	25	(43.9%)	12	(21.1%)	12	(21.1%)	8	(14.0%)	23	(42.6%)	15	(27.8%)	12	(22.2%)	4	(7.4%)
66	事業所は、子ども一人一人に対する支援の効果を検証している	16	(29.1%)	18	(32.7%)	15	(27.3%)	6	(10.9%)	15	(28.8%)	25	(48.1%)	8	(15.4%)	4	(7.7%)
67	家族は、当事業所の支援に満足している	31	(58.5%)	16	(30.2%)	6	(11.3%)	0	(0.0%)	11	(21.6%)	33	(64.7%)	7	(13.7%)	0	(0.0%)
68	子ども一人一人は、当事業所の支援に満足している	24	(44.4%)	23	(42.6%)	7	(13.0%)	0	(0.0%)	14	(28.6%)	30	(61.2%)	5	(10.2%)	0	(0.0%)
69	子ども一人一人は、個人のニーズに応じた個別の支援を受けている	18	(32.7%)	21	(38.2%)	14	(25.5%)	2	(3.6%)	21	(41.2%)	26	(51.0%)	4	(7.8%)	0	(0.0%)
70	子ども一人一人は、障害児支援に関するガイドラインに沿った支援を受けている	16	(30.8%)	23	(44.2%)	11	(21.2%)	2	(3.8%)	9	(17.6%)	34	(66.7%)	7	(13.7%)	1	(2.0%)

71	子ども一人一人は、十分に質の高い支援を受けている	19	(33.9%)	23	(41.1%)	13	(23.2%)	1	(1.8%)	10	(19.2%)	32	(61.5%)	10	(19.2%)	0	(0.0%)
----	--------------------------	----	---------	----	---------	----	---------	---	--------	----	---------	----	---------	----	---------	---	--------

表3 放課後等デイサービス事業の外部評価結果

番号	評価項目名	評価者分布								事業者分布							
		3		2		1		0		3		2		1		0	
1	事業所は、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士などの専門職を配置している	13	(37.1%)	6	(17.1%)	7	(20.0%)	9	(25.7%)	12	(52.2%)	4	(17.4%)	1	(4.3%)	6	(26.1%)
2	事業所は、定期的に支援者を対象とした内部研修を実施し、OJT(On the Job Training)を含んでいる。※OJTとは、日常業務を通じた職員研修のこと	12	(34.3%)	12	(34.3%)	9	(25.7%)	2	(5.7%)	17	(58.6%)	5	(17.2%)	5	(17.2%)	2	(6.9%)
3	事業所は、支援者に外部の研修会に参加して専門性を高める機会を提供しており、勤務時間内での研修受講を認めている	15	(42.9%)	17	(48.6%)	3	(8.6%)	0	(0.0%)	18	(60.0%)	11	(36.7%)	1	(3.3%)	0	(0.0%)
4	事業所は、支援者に、経験値に応じた頻度でのスーパービジョンやコンサルテーションを受ける機会を提供している	11	(31.4%)	6	(17.1%)	12	(34.3%)	6	(17.1%)	9	(30.0%)	8	(26.7%)	8	(26.7%)	5	(16.7%)
5	事業所は、ホームページやSNS等で事業所に関する情報を適切に発信している	8	(22.9%)	13	(37.1%)	12	(34.3%)	2	(5.7%)	12	(41.4%)	12	(41.4%)	4	(13.8%)	1	(3.4%)
6	支援者は、子ども一人一人をアセスメントする適切なツールや方法を理解し、アセスメントするスキルを有し、支援に活かしている	7	(20.0%)	9	(25.7%)	17	(48.6%)	2	(5.7%)	7	(23.3%)	13	(43.3%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)
7	支援者は、子どもが行動上の問題を起こす理由を理解し、行動上の問題を軽減するためのスキルを有し、支援に活かしている	7	(20.0%)	15	(42.9%)	11	(31.4%)	2	(5.7%)	7	(23.3%)	17	(56.7%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)
8	支援者は、運動・認知・言語・情緒の定型的な発達についての基本を理解し、支援に活かしている	6	(17.1%)	12	(34.3%)	15	(42.9%)	2	(5.7%)	5	(16.7%)	15	(50.0%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)
9	子ども一人一人は、個別の障害特性に配慮された支援を受けている	9	(25.7%)	12	(34.3%)	12	(34.3%)	2	(5.7%)	10	(33.3%)	14	(46.7%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)
10	子ども一人一人は、日常生活での自立と適応状況が評価され、また自立と適応を促すための支援を受けている	7	(20.0%)	14	(40.0%)	11	(31.4%)	3	(8.6%)	5	(16.7%)	18	(60.0%)	7	(23.3%)	0	(0.0%)
11	子ども一人一人は、余暇スキルのレパートリーを増やすため支援を受けている	8	(23.5%)	15	(44.1%)	9	(26.5%)	2	(5.9%)	4	(13.3%)	20	(66.7%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)
12	子ども一人一人は、適切なコミュニケーションの方法を学んでいる	10	(28.6%)	9	(25.7%)	14	(40.0%)	2	(5.7%)	11	(36.7%)	11	(36.7%)	8	(26.7%)	0	(0.0%)
13	子ども一人一人は、自己決定する力を育てるための支援をうけている	10	(28.6%)	16	(45.7%)	7	(20.0%)	2	(5.7%)	11	(36.7%)	17	(56.7%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)
14	子ども一人一人は、自分の長所が把握され、それに基づいた支援を受けている	13	(37.1%)	14	(40.0%)	7	(20.0%)	1	(2.9%)	10	(33.3%)	13	(43.3%)	7	(23.3%)	0	(0.0%)

15	子ども一人一人は、自分の嗜好(好み)が把握され、それに基づいた配慮ある支援を受けている	15	(42.9%)	12	(34.3%)	6	(17.1%)	2	(5.7%)	13	(44.8%)	13	(44.8%)	3	(10.3%)	0	(0.0%)
16	【放課後等デイサービス項目】子供一人一人は、次のライフステージに応じた将来の夢や希望を実現するための話し合いに、可能な限り参加している	5	(15.6%)	12	(37.5%)	9	(28.1%)	6	(18.8%)	1	(4.0%)	8	(32.0%)	13	(52.0%)	3	(12.0%)
23	保護者(および可能な範囲で子ども自身)は、個別支援計画の作成に参加している	12	(34.3%)	18	(51.4%)	3	(8.6%)	2	(5.7%)	11	(36.7%)	16	(53.3%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)
24	個別支援計画の目標の主語は、利用者である	11	(31.4%)	14	(40.0%)	7	(20.0%)	3	(8.6%)	16	(57.1%)	5	(17.9%)	3	(10.7%)	4	(14.3%)
25	子ども一人一人の個別支援計画は、個別のアセスメントに基づく適切なものである	7	(20.0%)	11	(31.4%)	15	(42.9%)	2	(5.7%)	16	(53.3%)	7	(23.3%)	7	(23.3%)	0	(0.0%)
26	子ども一人一人は、個別支援計画において、自立に求められる幅広い領域に対応した目標が設定され、多様な経験をしている	6	(17.1%)	19	(54.3%)	8	(22.9%)	2	(5.7%)	8	(27.6%)	21	(72.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
27	【重心項目】子ども一人一人の個別支援計画には、医療ケア、生活支援、発達支援がバランスよく盛り込まれている。	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(80.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)
28	子ども一人一人は、個別支援計画において、6ヶ月以内に達成が見込まれる具体的な目標が設定されており、実際に6ヶ月おきに評価されている	11	(32.4%)	12	(35.3%)	10	(29.4%)	1	(2.9%)	14	(46.7%)	10	(33.3%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)
29	子ども一人一人は、個別支援計画において、獲得したスキルを学校や家庭などの日常生活で幅広く使えるようになるような工夫がされている	6	(17.6%)	13	(38.2%)	14	(41.2%)	1	(2.9%)	9	(30.0%)	11	(36.7%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)
30	保護者に向けた書類(個別支援計画や検査報告書等)は、保護者に分かりやすく、専門用語を使わず、子育ての参考や子供の理解につながるような内容である	14	(42.4%)	11	(33.3%)	7	(21.2%)	1	(3.0%)	12	(40.0%)	16	(53.3%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)
31	子どもの環境は、障害に応じた整備がされており、また必要な道具が準備されている	10	(28.6%)	13	(37.1%)	12	(34.3%)	0	(0.0%)	8	(26.7%)	14	(46.7%)	8	(26.7%)	0	(0.0%)
32	事業所は、それぞれの活動エリアと活動の流れが子どもにとってわかりやすいように明瞭化された支援環境となっている	12	(34.3%)	10	(28.6%)	11	(31.4%)	2	(5.7%)	12	(40.0%)	15	(50.0%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)
33	子ども一人一人は、過剰な感覚刺激に晒されないように、環境上の配慮がされている	12	(34.3%)	12	(34.3%)	10	(28.6%)	1	(2.9%)	12	(40.0%)	14	(46.7%)	3	(10.0%)	1	(3.3%)
34	子ども一人一人は、必要に応じて個別の部屋や場所の使用が認められている	15	(42.9%)	14	(40.0%)	6	(17.1%)	0	(0.0%)	13	(43.3%)	9	(30.0%)	7	(23.3%)	1	(3.3%)
35	子ども一人一人は、支援者から穏やかな声や表情で対応されている	19	(54.3%)	13	(37.1%)	3	(8.6%)	0	(0.0%)	17	(56.7%)	12	(40.0%)	1	(3.3%)	0	(0.0%)
36	子ども一人一人は、自分が理解できるように支援内容と方法についての情報提供を受けている	9	(25.7%)	8	(22.9%)	15	(42.9%)	3	(8.6%)	6	(20.7%)	16	(55.2%)	6	(20.7%)	1	(3.4%)
37	子ども一人一人は、スキルの獲得に際して、支援者の介助、補助のレベルが計画的に減らされ、自立につながれている	8	(24.2%)	9	(27.3%)	12	(36.4%)	4	(12.1%)	7	(23.3%)	13	(43.3%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)
38	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験をできるだけ多く持つことが重視され、失敗体験はできるだけ回避されるように配慮されている	12	(36.4%)	7	(21.2%)	14	(42.4%)	0	(0.0%)	12	(40.0%)	15	(50.0%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)

39	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験にはほめられる機会が、失敗体験には次の成功に向けた再チャレンジの機会が保証されている	16	(48.5%)	10	(30.3%)	7	(21.2%)	0	(0.0%)	17	(56.7%)	11	(36.7%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)
40	子ども一人一人の毎回の行動変化および活動環境(人や物)の影響を確認できるように、直接観察により継続的に数量的評価がなされている	5	(14.7%)	6	(17.6%)	14	(41.2%)	9	(26.5%)	4	(14.3%)	10	(35.7%)	9	(32.1%)	5	(17.9%)
41	子ども一人一人は、食事を楽しく食べている	18	(62.1%)	10	(34.5%)	1	(3.4%)	0	(0.0%)	15	(62.5%)	9	(37.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
42	子ども一人一人にとって、その空間は適度なスペースで清潔に保たれ、快適に過ごしている	17	(50.0%)	12	(35.3%)	5	(14.7%)	0	(0.0%)	17	(56.7%)	9	(30.0%)	4	(13.3%)	0	(0.0%)
43	子ども一人一人は、自分のペースで活動できることが尊重された支援を受けている	12	(35.3%)	17	(50.0%)	5	(14.7%)	0	(0.0%)	12	(40.0%)	16	(53.3%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)
44	子ども一人ひとり、入浴・排泄に際しては同性によってケアされている	10	(30.3%)	16	(48.5%)	7	(21.2%)	0	(0.0%)	12	(44.4%)	6	(22.2%)	9	(33.3%)	0	(0.0%)
45	事業所は、支援者や家族による虐待の可能性について考慮しており、その疑いがある場合、適切な機関に報告している	17	(51.5%)	10	(30.3%)	5	(15.2%)	1	(3.0%)	19	(67.9%)	6	(21.4%)	3	(10.7%)	0	(0.0%)
46	【重点項目】子ども一人ひとは、かすかな反応にも気づかれ、意欲を引き出す支援を受けている	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
47	【重点項目】子ども一人ひとは、その子の心身が楽で、障害による発達障害が軽減されるようなポジショニングに基づいた支援を受けている	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(60.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
48	支援者は、事業所内において、チームで連携した発達支援を実施している	16	(48.5%)	7	(21.2%)	10	(30.3%)	0	(0.0%)	12	(41.4%)	16	(55.2%)	1	(3.4%)	0	(0.0%)
49	子ども一人一人の支援の目的と内容は、事業所・家庭・関係機関で共有され、各所の支援が調和的に子どもの育ちに資するような連携が実現されている	10	(30.3%)	12	(36.4%)	9	(27.3%)	2	(6.1%)	7	(23.3%)	17	(56.7%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)
50	子ども一人一人は、次のライフステージ、関係機関、一般施策機関への移行に際して、支援が途切れないための引継ぎを受けている	6	(18.2%)	17	(51.5%)	7	(21.2%)	3	(9.1%)	10	(33.3%)	12	(40.0%)	8	(26.7%)	0	(0.0%)
51	事業所は、保育所等訪問支援により、子どもの集団生活の場において、子どもへの直接支援および保育者への間接支援を行っている	8	(36.4%)	4	(18.2%)	2	(9.1%)	8	(36.4%)	6	(28.6%)	5	(23.8%)	4	(19.0%)	6	(28.6%)
57	保護者は、保護者自身の価値観を支援者に尊重されている	22	(68.8%)	9	(28.1%)	1	(3.1%)	0	(0.0%)	20	(66.7%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
58	保護者は、子どもの特性理解に向けた支援者との話し合う機会を提供されている	15	(45.5%)	10	(30.3%)	8	(24.2%)	0	(0.0%)	13	(43.3%)	11	(36.7%)	5	(16.7%)	1	(3.3%)
59	保護者は、子育てで困難や不安を感じることを支援者に話して、支援の説明や安心感を得る機会を保障されている	16	(48.5%)	14	(42.4%)	3	(9.1%)	0	(0.0%)	16	(53.3%)	12	(40.0%)	1	(3.3%)	1	(3.3%)
60	保護者は、支援者から、子どもの発達課題に家庭で取り組むための手続きや工夫を指導されている	11	(33.3%)	10	(30.3%)	9	(27.3%)	3	(9.1%)	7	(23.3%)	12	(40.0%)	10	(33.3%)	1	(3.3%)
61	保護者は、支援者から利用日の子どもの情報を適切に伝えられ、相互共有できている	20	(60.6%)	10	(30.3%)	3	(9.1%)	0	(0.0%)	18	(60.0%)	12	(40.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

62	保護者は、子どもの将来の状態像とのつながりがわかるよう配慮された情報提供を受けている	8	(24.2%)	15	(45.5%)	7	(21.2%)	3	(9.1%)	9	(31.0%)	8	(27.6%)	12	(41.4%)	0	(0.0%)
63	保護者は、支援者から共感的に支援されている	23	(69.7%)	8	(24.2%)	2	(6.1%)	0	(0.0%)	19	(63.3%)	11	(36.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
64	保護者は、保護者同士で交流する機会や情報を提供されている	8	(24.2%)	10	(30.3%)	8	(24.2%)	7	(21.2%)	7	(25.0%)	8	(28.6%)	8	(28.6%)	5	(17.9%)
65	保護者は、保護者も参加できる講演会や研修会の機会や情報を提供されている	12	(36.4%)	10	(30.3%)	7	(21.2%)	4	(12.1%)	11	(37.9%)	8	(27.6%)	8	(27.6%)	2	(6.9%)
66	事業所は、子ども一人一人に対する支援の効果を検証している	8	(22.9%)	12	(34.3%)	11	(31.4%)	4	(11.4%)	8	(26.7%)	15	(50.0%)	6	(20.0%)	1	(3.3%)
67	家族は、当事業所の支援に満足している	20	(62.5%)	9	(28.1%)	3	(9.4%)	0	(0.0%)	7	(23.3%)	19	(63.3%)	4	(13.3%)	0	(0.0%)
68	子ども一人一人は、当事業所の支援に満足している	15	(45.5%)	13	(39.4%)	5	(15.2%)	0	(0.0%)	8	(28.6%)	19	(67.9%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)
69	子ども一人一人は、個人のニーズに応じた個別の支援を受けている	9	(26.5%)	14	(41.2%)	10	(29.4%)	1	(2.9%)	13	(43.3%)	14	(46.7%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)
70	子ども一人一人は、障害児支援に関するガイドラインに沿った支援を受けている	8	(24.2%)	15	(45.5%)	8	(24.2%)	2	(6.1%)	6	(20.0%)	20	(66.7%)	4	(13.3%)	0	(0.0%)
71	子ども一人一人は、十分に質の高い支援を受けている	8	(23.5%)	15	(44.1%)	10	(29.4%)	1	(2.9%)	5	(16.7%)	19	(63.3%)	6	(20.0%)	0	(0.0%)

表4. 児童発達支援事業の外部評価結果

番号	評価項目名	評価者分布								事業者分布							
		3		2		1		0		3		2		1		0	
1	事業所は、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士などの専門職を配置している	11	(37.9%)	7	(24.1%)	6	(20.7%)	5	(17.2%)	9	(39.1%)	6	(26.1%)	2	(8.7%)	6	(26.1%)
2	事業所は、定期的に支援者を対象とした内部研修を実施し、OJT(On the Job Training)を含んでいる。※OJTとは、日常業務を通じた職員研修のこと	9	(31.0%)	11	(37.9%)	7	(24.1%)	2	(6.9%)	13	(46.4%)	10	(35.7%)	4	(14.3%)	1	(3.6%)
3	事業所は、支援者に外部の研修会に参加して専門性を高める機会を提供しており、勤務時間内での研修受講を認めている	15	(51.7%)	12	(41.4%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	18	(64.3%)	9	(32.1%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)
4	事業所は、支援者に、経験値に応じた頻度でのスーパービジョンやコンサルテーションを受ける機会を提供している	7	(24.1%)	9	(31.0%)	10	(34.5%)	3	(10.3%)	5	(17.9%)	12	(42.9%)	10	(35.7%)	1	(3.6%)
5	事業所は、ホームページやSNS等で事業所に関する情報を適切に発信している	11	(37.9%)	10	(34.5%)	7	(24.1%)	1	(3.4%)	11	(40.7%)	11	(40.7%)	3	(11.1%)	2	(7.4%)



6	支援者は、子ども一人一人をアセスメントする適切なツールや方法を理解し、アセスメントするスキルを有し、支援に活かしている	6	(20.7%)	9	(31.0%)	13	(44.8%)	1	(3.4%)	6	(21.4%)	11	(39.3%)	11	(39.3%)	0	(0.0%)
7	支援者は、子どもが行動上の問題を起こす理由を理解し、行動上の問題を軽減するためのスキルを有し、支援に活かしている	6	(20.7%)	13	(44.8%)	9	(31.0%)	1	(3.4%)	4	(14.3%)	17	(60.7%)	7	(25.0%)	0	(0.0%)
8	支援者は、運動・認知・言語・情緒の定型的な発達についての基本を理解し、支援に活かしている	6	(20.7%)	12	(41.4%)	11	(37.9%)	0	(0.0%)	3	(10.7%)	16	(57.1%)	9	(32.1%)	0	(0.0%)
9	子ども一人一人は、個別の障害特性に配慮された支援を受けている	7	(24.1%)	11	(37.9%)	10	(34.5%)	1	(3.4%)	10	(35.7%)	11	(39.3%)	7	(25.0%)	0	(0.0%)
10	子ども一人一人は、日常生活での自立と適応状況が評価され、また自立と適応を促すための支援を受けている	8	(27.6%)	13	(44.8%)	7	(24.1%)	1	(3.4%)	4	(14.3%)	17	(60.7%)	7	(25.0%)	0	(0.0%)
11	子ども一人一人は、余暇スキルのレパートリーを増やすため支援を受けている	6	(23.1%)	10	(38.5%)	8	(30.8%)	2	(7.7%)	3	(11.5%)	17	(65.4%)	6	(23.1%)	0	(0.0%)
12	子ども一人一人は、適切なコミュニケーションの方法を学んでいる	7	(24.1%)	11	(37.9%)	10	(34.5%)	1	(3.4%)	9	(32.1%)	14	(50.0%)	5	(17.9%)	0	(0.0%)
13	子ども一人一人は、自己決定する力を育てるための支援をうけている	6	(20.7%)	16	(55.2%)	6	(20.7%)	1	(3.4%)	8	(28.6%)	17	(60.7%)	3	(10.7%)	0	(0.0%)
14	子ども一人一人は、自分の長所が把握され、それに基づいた支援を受けている	8	(27.6%)	14	(48.3%)	7	(24.1%)	0	(0.0%)	9	(32.1%)	14	(50.0%)	5	(17.9%)	0	(0.0%)
15	子ども一人一人は、自分の嗜好(好み)が把握され、それに基づいた配慮ある支援を受けている	9	(31.0%)	13	(44.8%)	6	(20.7%)	1	(3.4%)	10	(37.0%)	15	(55.6%)	2	(7.4%)	0	(0.0%)
23	保護者(および可能な範囲で子ども自身)は、個別支援計画の作成に参加している	11	(37.9%)	12	(41.4%)	4	(13.8%)	2	(6.9%)	11	(39.3%)	10	(35.7%)	6	(21.4%)	1	(3.6%)
24	個別支援計画の目標の主語は、利用者である	9	(31.0%)	14	(48.3%)	2	(6.9%)	4	(13.8%)	14	(51.9%)	5	(18.5%)	3	(11.1%)	5	(18.5%)
25	子ども一人一人の個別支援計画は、個別のアセスメントに基づく適切なものである	8	(27.6%)	8	(27.6%)	12	(41.4%)	1	(3.4%)	14	(50.0%)	6	(21.4%)	8	(28.6%)	0	(0.0%)
26	子ども一人一人は、個別支援計画において、自立に求められる幅広い領域に対応した目標が設定され、多様な経験をしている	8	(27.6%)	13	(44.8%)	7	(24.1%)	1	(3.4%)	9	(32.1%)	17	(60.7%)	1	(3.6%)	1	(3.6%)
27	【重点項目】子ども一人一人の個別支援計画には、医療ケア、生活支援、発達支援がバランスよく盛り込まれている。	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)
28	子ども一人一人は、個別支援計画において、6ヶ月以内に達成が見込まれる具体的な目標が設定されており、実際に6ヶ月おきに評価されている	12	(42.9%)	9	(32.1%)	7	(25.0%)	0	(0.0%)	14	(50.0%)	9	(32.1%)	5	(17.9%)	0	(0.0%)
29	子ども一人一人は、個別支援計画において、獲得したスキルを学校や家庭などの日常生活で幅広く使えるようになるような工夫がされている	6	(20.7%)	11	(37.9%)	12	(41.4%)	0	(0.0%)	7	(25.0%)	12	(42.9%)	9	(32.1%)	0	(0.0%)
30	保護者に向けた書類(個別支援計画や検査報告書等)は、保護者に分かりやすく、専門用語を使わず、子育ての参考や子供の理解につながるような内容である	13	(44.8%)	12	(41.4%)	4	(13.8%)	0	(0.0%)	14	(50.0%)	12	(42.9%)	2	(7.1%)	0	(0.0%)

31	子どもの環境は、障害に応じた整備がされており、また必要な道具が準備されている	10	(34.5%)	11	(37.9%)	8	(27.6%)	0	(0.0%)	10	(35.7%)	13	(46.4%)	5	(17.9%)	0	(0.0%)
32	事業所は、それぞれの活動エリアと活動の流れが子どもにとってわかりやすいように明瞭化された支援環境となっている	12	(41.4%)	9	(31.0%)	7	(24.1%)	1	(3.4%)	14	(50.0%)	10	(35.7%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)
33	子ども一人一人は、過剰な感覚刺激に晒されないように、環境上の配慮がされている	9	(32.1%)	10	(35.7%)	7	(25.0%)	2	(7.1%)	9	(32.1%)	17	(60.7%)	2	(7.1%)	0	(0.0%)
34	子ども一人一人は、必要に応じて個別の部屋や場所の使用が認められている	13	(48.1%)	8	(29.6%)	5	(18.5%)	1	(3.7%)	14	(50.0%)	8	(28.6%)	6	(21.4%)	0	(0.0%)
35	子ども一人一人は、支援者から穏やかな声や表情で対応されている	16	(55.2%)	11	(37.9%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	20	(71.4%)	8	(28.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
36	子ども一人一人は、自分が理解できるように支援内容と方法についての情報提供を受けている	8	(27.6%)	7	(24.1%)	11	(37.9%)	3	(10.3%)	8	(30.8%)	9	(34.6%)	8	(30.8%)	1	(3.8%)
37	子ども一人一人は、スキルの獲得に際して、支援者の介助、補助のレベルが計画的に減らされ、自立につなげられている	7	(24.1%)	10	(34.5%)	10	(34.5%)	2	(6.9%)	9	(32.1%)	12	(42.9%)	6	(21.4%)	1	(3.6%)
38	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験をできるだけ多く持つことが重視され、失敗体験はできるだけ回避されるように配慮されている	11	(37.9%)	8	(27.6%)	10	(34.5%)	0	(0.0%)	15	(53.6%)	10	(35.7%)	3	(10.7%)	0	(0.0%)
39	子ども一人一人が学ぶ際には、成功体験にはほめられる機会が、失敗体験には次の成功に向けた再チャレンジの機会が保証されている	13	(44.8%)	8	(27.6%)	8	(27.6%)	0	(0.0%)	17	(60.7%)	8	(28.6%)	3	(10.7%)	0	(0.0%)
40	子ども一人一人の毎回の行動変化および活動環境(人や物)の影響を確認できるように、直接観察により継続的に数量的評価がなされている	6	(20.7%)	7	(24.1%)	10	(34.5%)	6	(20.7%)	4	(14.3%)	6	(21.4%)	14	(50.0%)	4	(14.3%)
41	子ども一人一人は、食事を楽しく食べている	16	(64.0%)	7	(28.0%)	2	(8.0%)	0	(0.0%)	15	(60.0%)	10	(40.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
42	子ども一人一人にとって、その空間は適度なスペースで清潔に保たれ、快適に過ごしている	16	(57.1%)	8	(28.6%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)	16	(57.1%)	8	(28.6%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)
43	子ども一人一人は、自分のペースで活動できることが尊重された支援を受けている	10	(34.5%)	15	(51.7%)	4	(13.8%)	0	(0.0%)	10	(35.7%)	16	(57.1%)	2	(7.1%)	0	(0.0%)
44	子ども一人ひとりは、入浴・排泄に際しては同性によってケアされている	7	(25.9%)	12	(44.4%)	7	(25.9%)	1	(3.7%)	7	(29.2%)	5	(20.8%)	9	(37.5%)	3	(12.5%)
45	事業所は、支援者や家族による虐待の可能性について考慮しており、その疑いがある場合、適切な機関に報告している	17	(60.7%)	7	(25.0%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)	19	(70.4%)	5	(18.5%)	3	(11.1%)	0	(0.0%)
46	【重点項目】子ども一人ひとりは、かすかな反応にも気づかれ、意欲を引き出す支援を受けている	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
47	【重点項目】子ども一人ひとりは、その子の心身が楽で、障害による発達障害が軽減されるようなポジショニングに基づいた支援を受けている	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
48	支援者は、事業所内において、チームで連携した発達支援を実施している	12	(41.4%)	10	(34.5%)	7	(24.1%)	0	(0.0%)	10	(35.7%)	14	(50.0%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)

49	子ども一人一人の支援の目的と内容は、事業所・家庭・関係機関で共有され、各所の支援が調和的に子どもの育ちに資するような連携が実現されている	8	(27.6%)	15	(51.7%)	5	(17.2%)	1	(3.4%)	5	(17.9%)	13	(46.4%)	10	(35.7%)	0	(0.0%)
50	子ども一人一人は、次のライフステージ、関係機関、一般施策機関への移行に際して、支援が途切れないための引継ぎを受けている	8	(27.6%)	13	(44.8%)	6	(20.7%)	2	(6.9%)	8	(28.6%)	13	(46.4%)	6	(21.4%)	1	(3.6%)
51	事業所は、保育所等訪問支援により、子どもの集団生活の場において、子どもへの直接支援および保育者への間接支援を行っている	8	(40.0%)	6	(30.0%)	0	(0.0%)	6	(30.0%)	8	(36.4%)	5	(22.7%)	6	(27.3%)	3	(13.6%)
57	保護者は、保護者自身の価値観を支援者に尊重されている	22	(75.9%)	5	(17.2%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	17	(60.7%)	11	(39.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
58	保護者は、子どもの特性理解に向けた支援者との話し合う機会を提供されている	17	(58.6%)	7	(24.1%)	4	(13.8%)	1	(3.4%)	13	(46.4%)	9	(32.1%)	6	(21.4%)	0	(0.0%)
59	保護者は、子育てで困難や不安を感じることを支援者に話して、支援の説明や安心感を得る機会を保証されている	17	(58.6%)	10	(34.5%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	13	(48.1%)	13	(48.1%)	1	(3.7%)	0	(0.0%)
60	保護者は、支援者から、子どもの発達課題に家庭で取り組むための手続きや工夫を指導されている	12	(41.4%)	9	(31.0%)	5	(17.2%)	3	(10.3%)	4	(14.3%)	15	(53.6%)	9	(32.1%)	0	(0.0%)
61	保護者は、支援者から利用日の子どもの情報を適切に伝えられ、相互共有できている	20	(69.0%)	8	(27.6%)	0	(0.0%)	1	(3.4%)	14	(50.0%)	13	(46.4%)	0	(0.0%)	1	(3.6%)
62	保護者は、子どもの将来の状態像とのつながりがわかるよう配慮された情報提供を受けている	12	(41.4%)	9	(31.0%)	6	(20.7%)	2	(6.9%)	6	(21.4%)	13	(46.4%)	9	(32.1%)	0	(0.0%)
63	保護者は、支援者から共感的に支援されている	21	(72.4%)	7	(24.1%)	1	(3.4%)	0	(0.0%)	17	(60.7%)	10	(35.7%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)
64	保護者は、保護者同士で交流する機会や情報を提供されている	13	(44.8%)	7	(24.1%)	6	(20.7%)	3	(10.3%)	12	(44.4%)	10	(37.0%)	4	(14.8%)	1	(3.7%)
65	保護者は、保護者も参加できる講演会や研修会の機会や情報を提供されている	15	(51.7%)	5	(17.2%)	5	(17.2%)	4	(13.8%)	14	(50.0%)	5	(17.9%)	8	(28.6%)	1	(3.6%)
66	事業所は、子ども一人一人に対する支援の効果を検証している	7	(26.9%)	9	(34.6%)	7	(26.9%)	3	(11.5%)	8	(30.8%)	10	(38.5%)	6	(23.1%)	2	(7.7%)
67	家族は、当事業所の支援に満足している	16	(61.5%)	8	(30.8%)	2	(7.7%)	0	(0.0%)	5	(19.2%)	17	(65.4%)	4	(15.4%)	0	(0.0%)
68	子ども一人一人は、当事業所の支援に満足している	13	(50.0%)	9	(34.6%)	4	(15.4%)	0	(0.0%)	8	(32.0%)	15	(60.0%)	2	(8.0%)	0	(0.0%)
69	子ども一人一人は、個人のニーズに応じた個別の支援を受けている	7	(26.9%)	11	(42.3%)	7	(26.9%)	1	(3.8%)	10	(38.5%)	13	(50.0%)	3	(11.5%)	0	(0.0%)
70	子ども一人一人は、障害児支援に関するガイドラインに沿った支援を受けている	7	(28.0%)	12	(48.0%)	5	(20.0%)	1	(4.0%)	4	(14.8%)	18	(66.7%)	4	(14.8%)	1	(3.7%)
71	子ども一人一人は、十分に質の高い支援を受けている	9	(34.6%)	10	(38.5%)	7	(26.9%)	0	(0.0%)	6	(22.2%)	15	(55.6%)	6	(22.2%)	0	(0.0%)